

令和2年度 事業報告書

()内は前年度

公益目的事業 1 ～長寿科学研究等支援事業～

長寿科学に携わる研究者に対して、その研究費などを支援する事業

(1)長寿科学研究者支援事業【自主財源】

23,419 千円
(27,916 千円)

令和2年度は10名に総額21,114,307円の助成を行い、平成20年から68名のべ148件、284,807,122円の助成を行うことになった。

なお、新型コロナ禍の影響により令和元年度の研究の進捗に支障が出た研究者2名に対し、1,298,010円の助成金の繰越を認める救済措置を行った。

	計画数	応募数	実施数	備考
継続研究支援 (最終年度)	3名	3名	3名	令和2年3月4日:審査評価委員会にて研究期間が最終年度となる3名から研究成果の発表を受け、審査の結果3名の継続を決定した。
継続研究支援 (2年目)	7名	7名	7名	令和2年3月4日:審査評価委員会にて申請分の審査を行い、7名の継続を決定した。 令和3年2月25日:令和3年度への継続について審査を行い、6名の継続を決定した。
合計	10名	10名	10名	

令和2年度 採択状況

No	研究者	所属施設	研究課題	期間	助成額	決定額	摘要
1	まつぎ きょうこ 松崎 京子	東京医科歯科大学大学院	骨格筋組織幹細胞の加齢性機能低下の分子機構の解析と加齢性筋萎縮治療の分子標的の抽出	R1-R2 2年計画 2年目	2,000,000	2,000,000	継続
2	しげみず だいち 重水 大智	国立長寿医療研究センター	アルツハイマー病発症・移行リスク因子の同定と早期予測診断システムの開発	R1-R2 2年計画 2年目	3,000,000	3,000,000	継続

No	研究者	所属施設	研究課題	期間	助成額	決定額	摘要
3	もりわき むつこ 森脇 睦子	東京医科歯科大学大 学院	入院中の転倒転落発生と病棟 アクティビティの関連 ～環境要 因を探る1施設での Pilot Study～	R1-R2 2年計画 2年目	699,040	699,040	継 続
4	あんどう かなえ 安藤香奈絵	東京都立大学	加齢による神経細胞内 ATP 低 下に注目した新規抗脳老化戦 略の開発	R1-R3 3年計画 2年目	1,500,000	1,500,000	継 続
5	ただ ひろぶみ 多田 敬典	国立長寿医療研究セ ンター	シナプスエイジング分子メカニ ズム解明による認知症治療薬開 発基盤の構築	R1-R3 3年計画 2年目	3,000,000	3,000,000	継 続
6	ながい としゆき 永井 利幸	北海道大学大学院	最先端技術を駆使した日本人 高齢者心不全における新規高 精度予後予測モデルの開発	R1-R3 3年計画 2年目	5,662,020	0	継 続
7	したら ひとし 設楽 仁	群馬大学大学院	高齢者の頸椎・頸髄疾患におけ る中枢神経代償メカニズムの解 明	R1-R3 3年計画 2年目	2,850,450 (R1 繰越金) *1,227,610 (R2 助成金) *1,622,840	2,850,450	継 続
8	おおしもしんいちろう 大下慎一郎	広島大学大学院	呼吸音可視化・自動解析プログ ラムによる在宅高齢者の遠隔医 療システム開発	R1-R3 3年計画 2年目	2,000,000	2,000,000	継 続
9	むとう ごう 武藤 剛	千葉大学	認知症・介護予防につながる IoT 活用による行動変容促進サ ービスの創出に関する研究	R1-R3 3年計画 2年目	2,000,000	2,000,000	継 続

No	研究者	所属施設	研究課題	期間	助成額	決定額	摘要
10	おおすがようすけ 大須賀洋祐	東京都健康長寿医療 センター研究所	高齢者の就労現場で簡便に評価可能な労働安全指標の開発	R1-R3 3年計画 2年目	4,152,400 (R1 繰越金) 70,400 (R2 助成金) 4,082,000	4,064,817	継続
合 計					26,863,910	21,114,307	

(2)長寿科学関連国際学会派遣事業【自主財源】

0円

(3,138千円)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学会の中止や出入国禁止により派遣できなかった第1期(派遣 4/1～7/31)の4名の採択研究者は、令和3年度に同一学会へ発表する場合は派遣(助成)することとした。また、第2期(派遣 8/1～11/30)および第3期(派遣 12/1～3/31)の募集は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み中止とした。

	計画数	採択数<応募数>	備考
第1期(4/1～7/31 開催分)	3～4人	5人<18人>	1人はWEB開催にて発表 4人は派遣できなかった
第2期(8/1～11/30 開催分)	3～4人	0人<0人>	募集中止
第3期(12/1～3/31 開催分)	3～4人	0人<0人>	募集中止
年間総合計(第1期～3期)	13人 程度	5人<18人>	

令和2年度長寿科学関連国際学会派遣事業 採択状況

No	期	氏名	所属・職名	派遣する学会名 開催国 都市	開催期日 (日間)	発表題目	
1	1	うえはら まさし 上原 将志	信州大学 医学部附属病院 整形外科 診療助教	第47回国際腰椎研究会 オーストラリア メルボルン	令和2年 4月27日～ 5月1日 (5日間)	一般中高齢者集団を用いたびまん性特発性骨増殖症と脊椎アライメントの検討:無作為抽出による運動器コホート「おぶせスタディ」	2年度は派遣せず、令和3年度発表の場合は助成する

No	期	氏名	所属・職名	派遣する学会名 開催国 都市	開催期日 (日間)	発表題目	
2	1	よう ねいか 楊 寧嘉	東京大学大学院 工学系研究科 精密工学専攻 大学院生	ロボティクスおよび自動化に関する国際会議 フランス パリ	令和2年 5月31日～ 6月4日 (5日間)	筋シナジーにおける時間的特徴量を用いた片麻痺患者の起立動作におけるリハビリテーション効果の推定	2年度は派遣せず、令和3年度発表の場合は助成する
3	1	おおさわ たえこ 大澤 妙子	新潟大学大学院医歯学総合研究科 医師	第80回米国糖尿病学会議 アメリカ シカゴ	令和2年 6月12日～ 6月16日 (5日間)	糖尿病の有無別にみた収縮期血圧が透析開始に及ぼす影響	2年度は派遣せず、令和3年度発表の場合は助成する
4	1	おがた あや 小縣 綾	国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部 流動研究員	神経受容体マッピング学会2020 カナダ モントリオール	令和2年 6月20日～ 6月23日 (4日間)	¹¹ C 標識 NCGG401 による Colony sitrumalting factor 1 receptor の PET イメージング	2年度は派遣せず、令和3年度発表の場合は助成する
5	1	かたやま おきむ 片山 脩	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター 予防老年学研究部長寿コホート研究室 特任研究員	アルツハイマー病協会国際会議2020 オランダ アムステルダム	令和2年 7月26日～ 7月30日 (5日間)	軽度認知障害を有する高齢者における認知症の修正可能な危険因子の保有パターン:4年間の縦断研究	WEB開催により発表
令和2年度採用者:5人 第1期(5人) 第2期(0人) 第3期(0人)							

(3)若手研究者表彰事業【自主財源】

1,612 千円
(2,882 千円)

若手研究者表彰事業は、平成 12 年度から実施しており、当時、財団が行っていた厚生労働科学研究推進事業に携わる研究者の中から、優れた研究成果をあげた方を審査評価し表彰することとして、スタートした。平成 23 年度までは、表彰を「財団会長賞」、「財団理事長賞」、「財団奨励賞」として行ってきたが平成 24 年度からは、表彰の対象を厚生労働科学研究に関わる研究者のみではなく、広く長寿科学研究に携わった研究者とすることとし、表彰名を「長寿科学賞」として表彰し、正賞楯および副賞を贈呈している。なお、副賞には研究費(100 万円)を交付している。

例年 6 月から募集を開始し 11 月に表彰式を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、令和 2 年度は全てのスケジュール(募集、審査、表彰式)を 3~4 カ月程度遅らせ実施した。

【令和2年度受賞者】

氏名	所属機関・職名	研究課題名	研究期間
まるやま けんた 丸山 健太	自然科学研究機構生理学研究所 特別協力研究員	腸内リボ核酸による骨粗鬆症 の病態修飾に関する研究	平成 26 年度 ~令和 2 年度

【表彰式】

日時:令和 3 年 3 月 12 日(金)16:15~17:00

開催場所:名古屋マリオットアソシアホテル 17 階 桂の間



公益目的事業 2 ～情報提供事業～

長寿科学研究の成果や健康長寿に関する情報を広く国民に提供する事業

(1) 業績集の発行【自主財源】

6,925 千円
(7,778 千円)

長寿科学研究の学術的研究成果の中で、社会のニーズにあったテーマを定め、毎年 1 回、医療従事者向けに編集した研究マニュアルを業績集として発刊し、全国の自治体、病院、大学などの関係機関に無償配布し、その活用を図ることにより研究成果の普及啓発を図った。

今年度は、フレイルをテーマに専門家の意見や研究成果をまとめた「フレイル予防・対策：基礎研究から臨床、そして地域へ」を 5,000 部作成、また財団 HP でも公開した。



(2) 機関誌の発行【自主財源】

25,708 千円
(20,366 千円)

① 機関誌

健康長寿情報や長寿科学研究成果を分かり易く広報するために、機関誌「Aging & Health (エイジングアンドヘルス)」を年に 4 回(春・夏・秋・冬)各 8,000 部発刊した。全国の自治体、国立病院、大学などの関係機関、地域包括支援センターなどに無償配布するとともに、財団 HP でも閲覧を可能にし、多くの方にご覧いただいている。



② 設立 30 周年記念誌

財団設立 30 周年を記念して記念誌を 2,000 部作成し、出版事業(機関誌)の一環として長寿科学の広報活動に活用した。

(3)健康長寿ネット【自主財源】

8,088千円

(6,733千円)

本財団のホームページ「健康長寿ネット(<https://www.tyojyu.or.jp/net/>)」により、老化予防や健康づくり、疾病、介護予防など、健康長寿に関する情報を広く国民に提供している。

令和2年度は、特集:新型コロナウイルス感染症対策として財団職員制作による取材記事を掲載(7記事)。また、無料の財団メールマガジンの配信を開始した(令和2年7月3日より配信)。

①掲載内容と記事数(令和3年3月末時点)

項目	内容	記事数
健康長寿とは	「高齢者の食事摂取基準」「運動器の老化」「日本人はなぜ長生きか」「高齢者の生きがい」など 自分でできる健康長寿のための情報を紹介。	382
高齢者の病気	「サルコペニアとは」「フレイルとは」「老年症候群」「認知症」「肺炎」など 高齢者に多い病気・症状をわかりやすく解説。	428
高齢者を支える制度とサービス	「認知症高齢者の日常生活自立度」「地域包括支援センター」「地域密着型サービス」など 介護保険制度や利用できるサービスなどを紹介。	160
対談・特集・研究情報	財団機関誌「Aging & Health」から対談・特集・研究情報を転載。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策記事を掲載。	296
エッセイ	井口昭久先生のエッセイ「老いをみるまなざし」、宮子あずさ先生「訪問看護師から老いをみると」他、財団機関誌「Aging & Health」からエッセイを転載。	133
インタビュー	財団機関誌「Aging & Health」から“いつも元気、いまも現役”を転載。	23
介護予防のための生活機能チェック	介護保険法による「基本チェックリスト」に基づく、介護予防のための生活機能チェック(25問)をインターネット上で提供。	39
合計		1,461

②新型コロナウイルス感染症対策記事

高齢者を対象とした新型コロナウイルス感染症対策について情報提供を目的に財団職員による記事を制作。令和2年5月25日より公開し、専門家への取材記事を段階的に追加。3月末で累計423,149回のアクセスになった。

タイトル	取材協力者
高齢者版:新型コロナウイルスにかからない・うつさないための「新しい生活様式」	財団職員作成
在宅でもできる運動・活動 ～在宅活動ガイド2020～	荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター理事長) 大沢 愛子 (同センターリハビリテーション科医長)
感染防止のためのマスクの効果・選び方・注意点	岡田 啓 (株式会社スギ薬局 医薬品情報室)

タイトル	取材協力者
免疫とは何か？	錦見 昭彦 (国立長寿医療研究センター研究所 バイオセーフティ管理・研究室長)
低栄養予防・免疫力向上の食事・栄養	大塚 礼 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研 究センター NILS-LSA 活用研究室長)
感染予防のための睡眠	吉池 卓也 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研 究所 睡眠・覚醒障害研究部 精神生理機能研究室 室長)
ストレスと向きあう心のケア	安 順姫 (公財)ダイヤ高齢社会研究財団 研究員)

③メールマガジンの配信

利用者の医療・健康等の情報に対する需要の把握と、利用者と財団との双方向の対話の仕組み作りの一環として定期的なメールマガジンの配信を開始した。

メールマガジン配信の内容

健康長寿ネットの全てのページに無料メールマガジン配信登録の申込みページへのリンクを用意。登録ページにて名前・職業・メールアドレスを登録いただき、登録者に以下の内容を E メール (HTML 形式) にて無料で月初に配信している。

- 健康長寿ネットの更新情報
- 長寿科学研究成果ニュース
- 財団主催のイベントのお知らせ
- 財団発行の刊行物のお知らせ
- 日々に役立つ健康情報(おすすめコンテンツ)
- Q&A コーナー
- そのほか財団からのお知らせ

メールマガジン登録者の概況

登録者数:約 6,300 人(令和 3 年 5 月時点) 男女比(名前より推計)=47:53

メール配信実績(送信件数と開封件数)

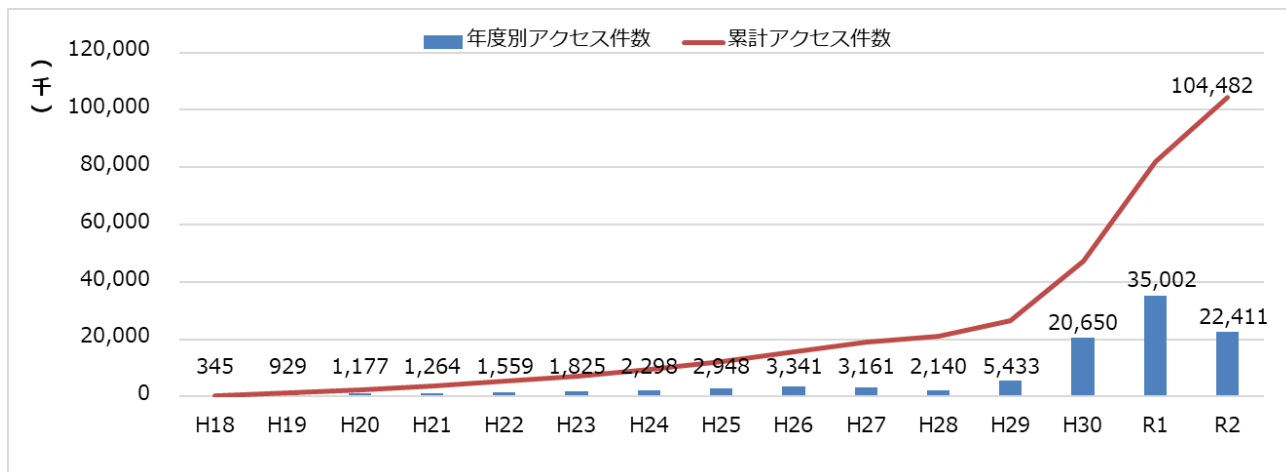
1. 7月3日	送信:291件	開封:未計数	
2. 8月7日	送信:645件	開封:308件	開封率:47.8%
3. 9月4日	送信:992件	開封:336件	開封率:33.8%
4. 10月2日	送信:1,250件	開封:285件	開封率:22.8%
5. 11月6日	送信:1,623件	開封:512件	開封率:31.5%
6. 12月9日	送信:1,990件	開封:630件	開封率:29.9%
7. 1月8日	送信:2,525件	開封:961件	開封率:38.1%
8. 2月2日	送信:3,066件	開封:1,026件	開封率:33.5%
9. 3月5日	送信:3,745件	開封:システム不具合により未計数	

令和2年度業績集配布について

メルマガ登録者に令和2年度業績集の送付申込を募り、郵送にて配布した(配布数2,800部)。

④健康長寿ネット事業 アクセス件数

1. アクセス数推移（単位：千アクセス）



2. アクセス内容

項目	アクセス数 (訪問者数)	閲覧頁数 (ページビュー数)	1 訪問あたり 閲覧頁数	平均閲覧時間 (分)	直帰率	新規アクセス率
R2	22,411,290	28,776,310	1.28	1:01	86.84%	84.34%
R1	35,001,763	45,831,963	1.31	1:00	85.59%	82.48%
前年比(%)	64.0%	62.8%	97.7%	101.7%	1.3%	1.9%

3. 訪問者属性（年齢別・性別・閲覧環境）

A) 年齢

年齢	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65～
R2 割合(%)	14.25%	25.35%	25.64%	15.67%	9.87%	9.22%
R1 割合(%)	10.91%	28.88%	27.88%	15.69%	9.02%	7.61%
前年比	3.34	-3.53	-2.24	-0.02	0.85	1.61

B) 性別

性別	男性	女性
R2 割合(%)	44.9%	55.1%
R1 割合(%)	42.0%	56.0%
前年比	2.90	-0.90

C) 閲覧端末

端末	モバイル	デスクトップ	タブレット
R2 割合(%)	71.32%	25.08%	3.60%
R1 割合(%)	75.09%	19.96%	4.95%
前年比	-3.77	5.13	-1.35

4. アクセスランキング（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

Rank	タイトル	閲覧回数
1	貧血予防に良い食事・食べ物・調理方法とは	797,389
2	亜鉛の働きと1日の摂取量	556,488
3	ビタミンDの働きと1日の摂取量	554,362
4	カリウムの働きと1日の摂取量	541,568
5	三大栄養素の炭水化物の働きと1日の摂取量	481,960
6	水は1日どれくらい飲めば良いか	456,560
7	ビタミンCの働きと1日の摂取量	348,866
8	ビタミンEの働きと1日の摂取量	333,866
9	マグネシウムの働きと1日の摂取量	324,714
10	心拍数と運動強度	316,839

5 キーワードランキング（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

Rank	キーワード	クリック数	検索表示回数
1	ビタミンD	142,395	1,665,346
2	貧血 食べ物	90,547	370,881
3	ビタミンE	82,292	446,063
4	ビタミンB1	80,972	470,610
5	ビタミンC	68,119	941,134
6	カリウム	61,344	691,172
7	ポリフェノール	58,675	374,951
8	ビタミンA	56,263	514,571
9	鉄分 食べ物	51,204	426,028
10	ビタミンB2	49,725	364,519

6 その他

- 記事の引用・転載・リンクの申請件数:78件
- 日本工業規格(JIS X8321-3:2016)に基づく試験結果:適合レベル A 一部準拠
 - 適合レベル A 及び AA に基づき、財団 HP・健康長寿ネットの試験を行った
 - 確認内容:パソコン向け表示の表示内容と操作
 - 試験対象:tyojyu.or.jp 以下の 40 頁(代表頁 20 頁と、ランダム選択された 20 頁)

(4)長寿たすけ愛講演会開催事業【自主財源】

35 千円
(9,423 千円)

高齢社会の中で、明るく活力のある長寿社会の構築を参加者と共に考え、実践するきっかけづくりの場として、「勉強・運動・笑い」をコンセプトとした講演会を開催する。

今年度は共催する堺市老人クラブ連合会、愛知県東浦町と協議の結果、来場者の感染防止の観点から開催を中止することとした。また、令和3年度の開催についても協議の結果、中止する方向とした。

(5)長寿科学研究普及事業【自主財源】

0 円
(4,581 千円)

研究成果などの普及啓発を図るため、国立長寿医療研究センターとの連携により、毎年テーマを決め、長寿科学研究に関するシンポジウムを開催している。

今年度は、共催する国立長寿医療研究センターとの協議の結果、海外からの研究者を招聘することが困難なことから、令和2年度の国際シンポジウムの開催を中止することとした。

公益目的事業 3 ～調査研究事業～

長寿科学に関する調査研究事業

(1)アテンプト2 研究事業【自主財源】

1,923 千円
(2,670 千円)

研究目的:平成 27 年度に終了したアテンプト研究事業の発展研究として、推算糸球体濾過値(eGFR)等のデータを収集し長期的なアンジオテンシン II 受容体拮抗薬(ARB)治療の腎保護効果と心血管イベント抑制効果を明らかにする。

研究方法:調査票により各施設から心血管イベントの発生状況ならびに採血、採尿データを収集・分析
令和2年度はデータの収集、整理、蓄積した情報データを統計解析した。

登録症例数:アテンプト研究に参加した患者のうち、試験継続の承諾を得た 132 施設 717 人を対象とした。

研究代表者:熊本大学保健センター 准教授 副島 弘文

研究期間:平成 29 年度～令和 2 年度(4 年間)

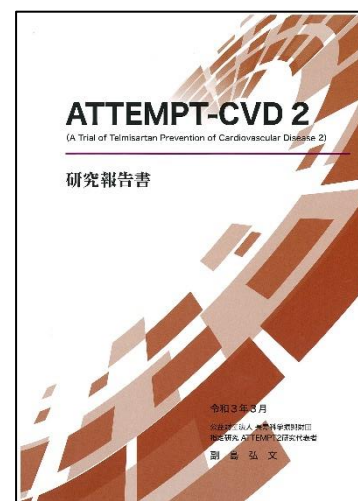
研究報告(運営委員会)

日 時:令和 3 年 3 月 5 日(金) 14 時～16 時

会 場:名鉄ニューグランドホテル 7 階 扇の間

出席委員:大島伸一理事長、加賀美幸子理事、齋藤英彦理事、
田邊 穰理事、戸川達男理事、遠島敏行監事

研究報告書:1,200 部作成し関係機関に無償配布した。



事業報告の附属明細書

記載すべき事項なし